



お姫様はきれいな物ものが大好きだいすきでした。

むかし、あるところに
お姫様ひめさまがいました。

SC Tadoku Books

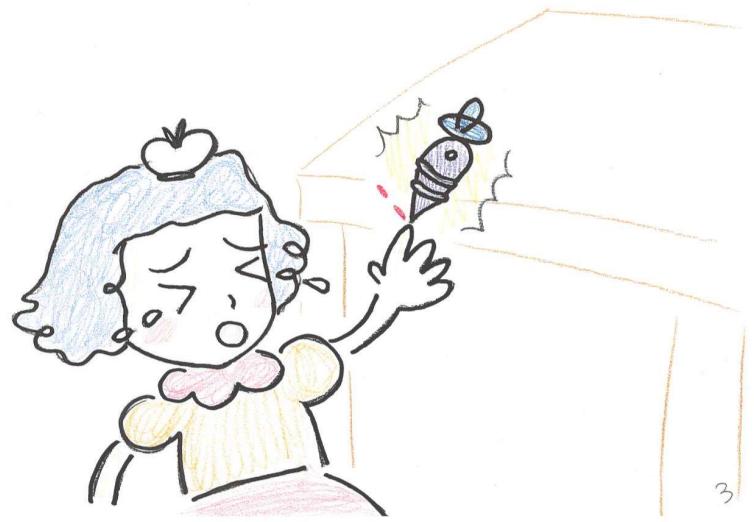
レベル2

ぱりんせすものがたり
プリンセス物語



原案、作画：ジー・ミンヒー

文、編集：菅原浩子



「あっ、痛い！」

お姫様がナイフを落としたので、
お姫様はナイフで手を切りました。

3



ある日、お姫様はお城の高いところに上りました。

一番上の部屋のドアが開いていました。
でも、部屋の中には誰もいませんでした。

お姫様は部屋に入りました。

そして、きれいなナイフを見つけました。

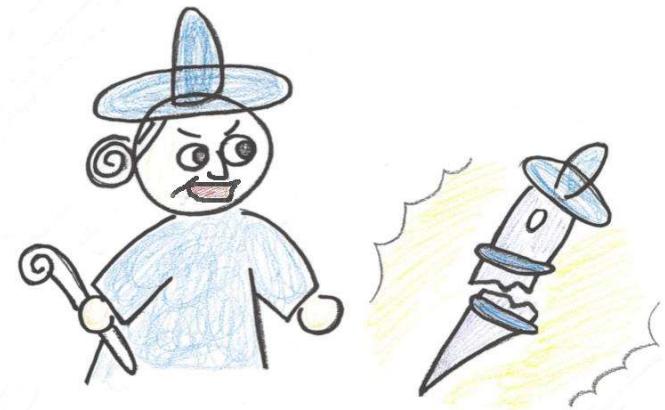
「わく、きれい！」

2



魔法でお姫様は五百年間眠りました。
まほう ひめさま ごひやくねんかんねむ

魔女はとても怒って、お姫様に魔法を使いました。
まじょ おこ ひめさま まほう まじょ つか



「どうしてここにいるんだ！」
なに 何をした！

お姫様とナイフを見て魔女が大きい声で言いました。
ひめさま ないふ み まじょ おお こえ い

ここは魔女の部屋でした。
まじょ へや まじょ へや かえ

魔女が部屋に帰ってきたのです。
まじょ へや まじょ たいせつ もの

ナイフは魔女の大切な物でした。
ないふ まじょ たいせつ もの



森の中に大きい家がありました。

お姫様は一人で森の中をずっと歩きました。



でも、お父さんもお母さんもいません。
お姫様の家もありません。

五百年後、お姫様は起きました。



ある日、小人が仕事を行っている時に、魔女が家に来ました。

お姫様はびっくりしました。



「きれいなお姫様、どこから来たんですか」
 「私の家がありません。家族もいません」
 「お姫様、今日から私たちといっしょにこの家に住みましょう」
 「小人さん、どうもありがとうございます」
 「お姫様はご飯を作つたり洗濯をしたりして、小人の家の仕事を手伝いました」
 「お姫様と七人の小人は楽しく暮らしました」



「まあ、ありがとうございます。

「でも、私はドレスも馬車もきれいな
靴もないんです」

お姫様が言いました。

すると魔女は、
「大丈夫。私が魔法でドレスも馬車も
靴も出してあげるよ」と言いました。



魔女はお姫様に言いました。

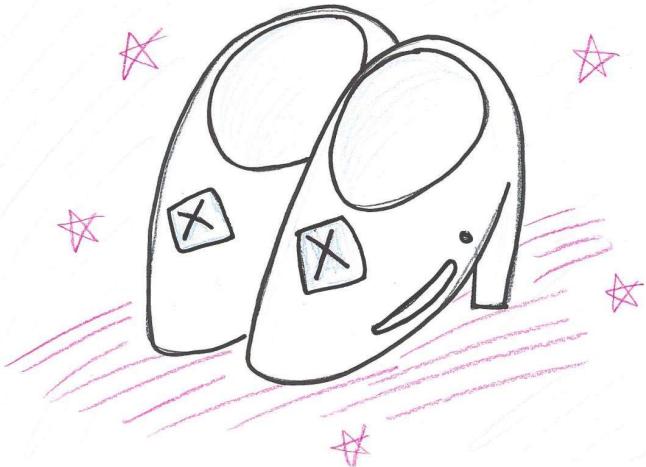
「あの時はあんなに怒つてごめんなさい。
今晚お城で大きいパーティーがあるよ。
パーティーに行きたい?」



次に魔法でうさぎを立派な馬に
しました。



まず魔女は魔法できれいなドレスを作りました。



最後に、
ガラスの靴にしました。
お姫様の靴をピカピカの



それから赤いりんごを大きくてきれ
いな馬車にしました。



17

「まあすごい。どうもありがとう！」
お姫様が言いました。

「でも、この魔法は夜十二時には終
わってしまう。その前に家に帰らな
きやいけないよ」

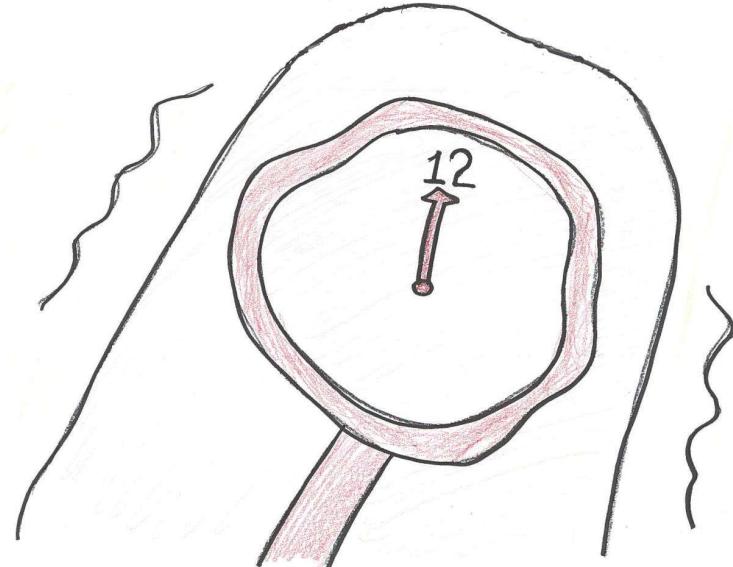
魔女が言いました。

「お姫様はお城のパーティーに行き
ました。

ハンサムな王子はきれいなお姫様
を見て、大好きになりました。

そして二人は楽しくダンスをしま
した。

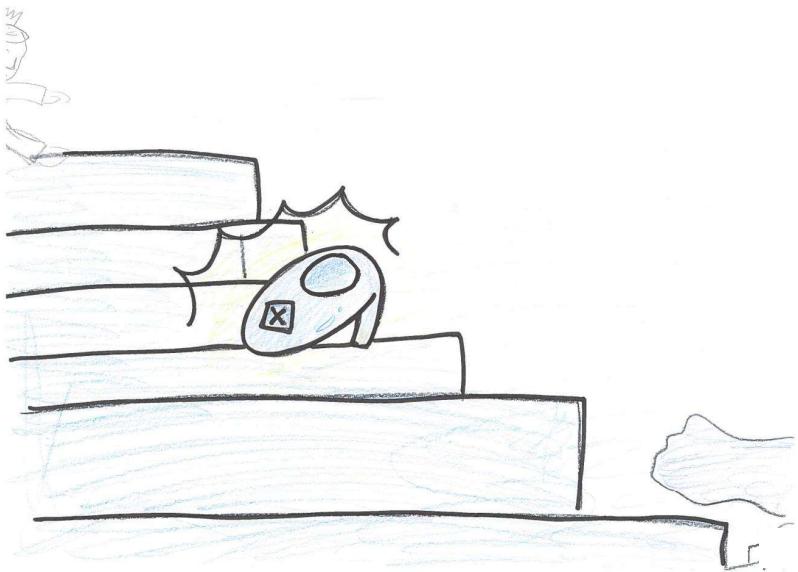
17



16

「まあすごい。どうもありがとう！」
お姫様が言いました。

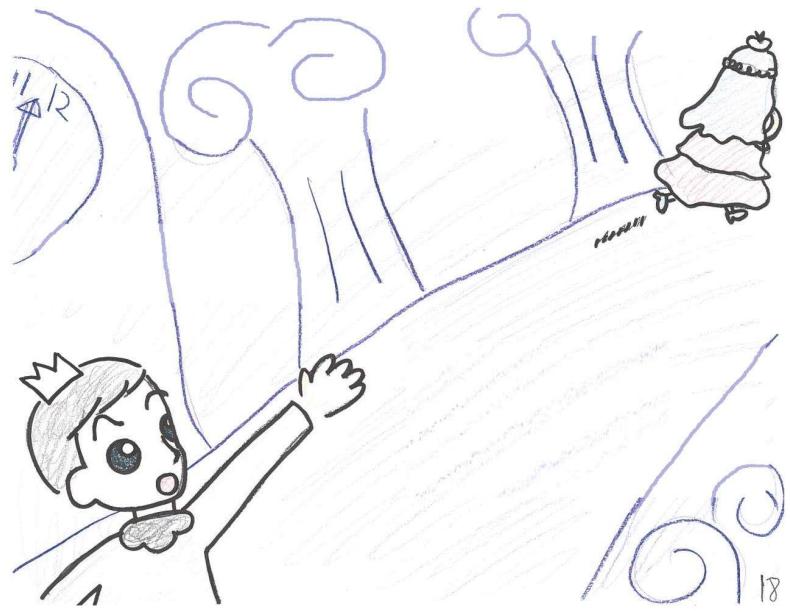
16



お姫様はもうどこにもいませんでした。
でも、お城の階段に、お姫様のガラスの
靴が落ちていました。

「お姫様、待つて！」

王子はお姫様の後を追いかけました。



た。

「私はもう帰らなければいけません」

お姫様は急いでお城から出て行きまし

てしました。
もうすぐ十二時です。

時計を見たらもう十一時五十分になつ



21

このお姫様だけ、ガラスの靴が履けました。

このお姫様もガラスの靴を履きました。

21



20

ある日お姫様は町に出かけました。

町の中にたくさんポスターがありました。

「これは誰の靴ですか」

町の女の人たちがガラスの靴を履きました。でも、靴は小さかったです。



その後、二人は結婚して、
いつまでも幸せに暮らしました。

23



お姫様も王子にまた会えてとても喜びました。

お姫様を見つけて王子は喜びました。

22

この物語のイラストと原作は、 USC 2013年秋学期 Extensive Reading in Japanese II のクラスの
ジー・ミンヒーさんの作品です。

SC Tadoku Book series are created by the Japanese instructors in Southern California. The project is
sponsored by USC Department of East Asian Languages and Cultures and USC East Asian Studies Center.